

○ 議第 2 6 3 号～第 2 7 4 号「指定管理者の指定について（子ども若者はぐくみ局関係）」参考資料

議第 2 6 3 号「京都市上京児童館」	・・・	1
議第 2 6 4 号「京都市高野児童館」	・・・	5
議第 2 6 5 号「京都市修徳児童館」	・・・	9
議第 2 6 6 号「京都市吉祥院児童館」	・・・	13
議第 2 6 7 号「京都市久世西児童館」	・・・	17
議第 2 6 8 号「京都市葛野児童館」	・・・	21
議第 2 6 9 号「京都市西京児童館」	・・・	25
議第 2 7 0 号「京都市伏見板橋児童館」	・・・	29
議第 2 7 1 号「京都市藤城児童館」	・・・	33
議第 2 7 2 号「京都市児童療育センター（児童発達支援センターの 用に供する部分に限る。）」	・・・	37
議第 2 7 3 号「京都市児童療育センター（児童発達支援センターの 用に供する部分を除く。）」	・・・	41
議第 2 7 4 号「京都市中央青少年活動センター」	・・・	45
各指定候補者の役員等名簿	・・・	49



1 施設の概要

- (1) 所在地  
 京都市上京区今小路通御前通東入西今小路町797番地  
 (分室)  
 京都市上京区新烏丸通丸太町上る錦砂町290番地の2
- (2) 施設規模等  
 構造 鉄筋コンクリート造2階建て(2階部分)  
 延べ床面積 218.30平方メートル  
 (分室)  
 構造 鉄筋コンクリート造3階建て(2階部分)  
 延べ床面積 137.05平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会(会長 小石 玖三主)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設立年月日	昭和36年4月28日
現在の基本財産	100,000,000円、土地、建物
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施</li> <li>・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業</li> <li>・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業</li> <li>・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡</li> <li>・ 共同募金事業への協力</li> <li>・ ひと・まち交流館 京都の経営</li> <li>・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営</li> <li>・ 京都市長寿すこやかセンターの経営</li> <li>・ 京都市成年後見支援センターの経営</li> <li>・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営</li> <li>・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営</li> <li>・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人福祉センターの経営</li> <li>・ 地域包括支援センターの経営</li> <li>・ 老人短期入所施設の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護予防支援事業</li> <li>・ 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)</li> <li>・ 法人後見事業</li> <li>・ 生活福祉資金貸付事業</li> <li>・ その他の生活困窮者自立支援事業</li> <li>・ 生活支援体制整備事業</li> <li>・ その他この法人の目的達成のため必要な事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市紫野児童館ほか31館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 地域の乳幼児から大人までが、いつでも気軽に来館し、安心して過ごせる児童館づくりに努めるとともに、児童館が地域の憩いの場であることを発信し続けるなど、広報にも力を入れる。
- イ 学童クラブ事業については、「生活の場」として、放課後を安全に過ごせるよう支援するとともに、様々な経験や異年齢集団の活動、遊びを通じて、他者を思いやる心や仲間意識・協調性を高めていく。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を心掛ける。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策として、児童・職員の検温・手洗い・手指消毒の徹底、遊具・設備の消毒等を日々行うとともに、それらの取組についてホームページやおたよりで広く周知を行い、利用者の理解を得ていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	54,003,413	55,159,395	56,350,055	57,576,436	58,839,608
	利用料	10,287,728	10,287,728	10,287,728	10,287,728	10,287,728
	収入合計	64,291,141	65,447,123	66,637,783	67,864,164	69,127,336
支出	人件費	39,629,441	40,785,423	41,976,083	43,202,464	44,465,636
	事業費	24,661,700	24,661,700	24,661,700	24,661,700	24,661,700
	支出合計	64,291,141	65,447,123	66,637,783	67,864,164	69,127,336

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ <b>社会福祉法人 京都市社会福祉協議会</b>	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請者は、児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>・ 長年にわたる児童館運営の実績に基づき緻密な事業計画が立てられており、実効性のある事業展開が期待できる。また、一步踏み込んだ子育て支援の取組を実施している点も評価できる。</li> <li>・ 事業計画において、職員の給与を3%増額している点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> <li>・ 多彩な活動が展開されている点や人材育成に力を入れている点が評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.80
	小計	3.2	29.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.80
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.80
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	65.60
合計		9.8	95.20
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.06
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 自由参加の児童や中高生の利用に対する方策、事業展開等について、今後、さらなる検討をすることが望ましい。
- 組織全体、責任者、役職者レベルでは密に連携し、法人としてサービスの質の向上を図っている状況が確認できる。一方で、その内容が職員会議等を通じて職場レベルにまでフィードバックされることがより重要である。
- 共働き世代が増加する中、保護者へのサポートの更なる充実とともに、子どもの成長、教育に今まで以上に取り組んでもらうことを期待する。
- 成果と課題を明確にし、事業運営している点が評価できる。今後もアンケート等を通して集約した利用者の意見を大切にして運営してほしい。



1 施設の概要

- (1) 所在地  
京都市左京区高野西開町5番地
- (2) 施設規模等  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て（2階部分）  
延べ床面積 470.92平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施</li> <li>・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業</li> <li>・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業</li> <li>・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡</li> <li>・ 共同募金事業への協力</li> <li>・ ひと・まち交流館 京都の経営</li> <li>・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営</li> <li>・ 京都市長寿すこやかセンターの経営</li> <li>・ 京都市成年後見支援センターの経営</li> <li>・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営</li> <li>・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営</li> <li>・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人福祉センターの経営</li> <li>・ 地域包括支援センターの経営</li> <li>・ 老人短期入所施設の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護予防支援事業</li> <li>・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）</li> <li>・ 法人後見事業</li> <li>・ 生活福祉資金貸付事業</li> <li>・ その他の生活困窮者自立支援事業</li> <li>・ 生活支援体制整備事業</li> <li>・ その他この法人の目的達成のため必要な事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市紫野児童館ほか31館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 乳幼児から大人までが、いつでも気軽に来館し、安心して過ごせる居場所づくりを進め、利用者の現状やニーズを捉えた事業展開と充実を図り、子育て支援の拠点となるよう、地域への理解と利用を促進していく。
- イ 学童クラブ事業については、基本的な生活習慣を身につけ、異年齢集団での遊び、生活、活動を通じて、物事を発展させる力や挑戦する力を養うとともに、互いに認め合い、成長を喜び合える仲間づくりを目指していく。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を心掛ける。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策として、児童・職員の検温・手洗い・手指消毒の徹底、遊具・設備の消毒等を日々行うとともに、それらの取組についてホームページやおたよりで広く周知を行い、利用者の理解を得ていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	30,465,528	31,265,681	32,089,838	32,938,720	33,813,068
	利用料	9,240,256	9,240,256	9,240,256	9,240,256	9,240,256
	収入合計	39,705,784	40,505,937	41,330,094	42,178,976	43,053,324
支出	人件費	27,062,311	27,862,464	28,686,621	29,535,503	30,409,851
	事業費	12,643,473	12,643,473	12,643,473	12,643,473	12,643,473
	支出合計	39,705,784	40,505,937	41,330,094	42,178,976	43,053,324

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ <b>社会福祉法人 京都市社会福祉協議会</b>	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請者は、児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>長年にわたる児童館運営の実績に基づき緻密な事業計画が立てられており、実効性のある事業展開が期待できる。また、一步踏み込んだ子育て支援の取組を実施している点も評価できる。</li> <li>事業計画において、職員の給与を3%増額している点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> <li>多彩な活動が展開されている点や人材育成に力を入れている点が評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>



## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.80
	小計	3.2	29.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.80
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.80
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	65.60
合計		9.8	95.20
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.06
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 自由参加の児童や中高生の利用に対する方策、事業展開等について、今後、さらなる検討をすることが望ましい。
- 組織全体、責任者、役職者レベルでは密に連携し、法人としてサービスの質の向上を図っている状況が確認できる。一方で、その内容が職員会議等を通じて職場レベルにまでフィードバックされることがより重要である。
- 共働き世代が増加する中、保護者へのサポートの更なる充実とともに、子どもの成長、教育に今まで以上に取り組んでもらうことを期待する。
- 成果と課題を明確にし、事業運営している点が評価できる。今後もアンケート等を通して集約した利用者の意見を大切にして運営してほしい。



1 施設の概要

- (1) 所在地  
 京都市下京区新町通松原下る富永町110番地の1  
 (施設外クラス)  
 京都市下京区新町通松原下る富永町110番地の1
- (2) 施設規模等  
 構造 鉄筋コンクリート造4階建て(1階部分)  
 延べ床面積 169.18平方メートル  
 (施設外クラス)  
 構造 鉄筋コンクリート造4階建て(4階部分)  
 延べ床面積 49.78平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都福祉サービス協会(理事長 浅野 信之)
主たる事務所の所在地	京都市中京区壬生御所ノ内町39番の5
設立年月日	平成5年7月30日
現在の基本財産	建物、土地
事業概要	<p>(第1種社会福祉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> <li>・ 軽費老人ホームの経営</li> </ul> <p>(第2種社会福祉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 放課後児童健全育成事業の経営</li> <li>・ 養育支援訪問事業の経営</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 児童厚生施設児童館の経営</li> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 老人短期入所事業の経営</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> </ul> <p>(公益事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業</li> <li>・ 介護保険適用外老人居宅介護等事業</li> <li>・ 介護職員養成研修等事業</li> <li>・ 要介護認定・要支援認定調査事業</li> <li>・ 訪問看護事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市錦林児童館ほか1館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 魅力ある乳幼児親子の活動を展開するとともに、自由に集える雰囲気づくりと環境整備を行い、日常的な遊び場としての児童館になるよう努めていく。
- イ 学童クラブ事業については、平成27年度に策定された「放課後児童クラブ運営指針」に沿って、事業内容の充実を図っていく。
- ウ 異年齢、異世代交流を進め、世代間の双方向的な扶助関係を生み出し、地域イベントにも積極的に関わることで、地域交流を促進していく。
- エ 障害のある児童の地域における居場所づくりについて、乳幼児親子の子育て支援活動から学童期、思春期の子ども育成活動に至るまで、切れ目ない支援に取り組み、多様な世代の地域住民に見守られながら、成長発達を促進する環境づくりに努めていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	27,431,900	27,834,900	28,233,900	28,592,900	28,927,900
	利用料	19,940,000	19,940,000	19,940,000	19,940,000	19,940,000
	収入合計	47,371,900	47,774,900	48,173,900	48,532,900	48,867,900
支出	人件費	28,421,000	28,824,000	29,223,000	29,582,000	29,917,000
	事業費	18,950,900	18,950,900	18,950,900	18,950,900	18,950,900
	支出合計	47,371,900	47,774,900	48,173,900	48,532,900	48,867,900

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都福祉 サービス協会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 同一法人内で運営している高齢者施設との連携により、緻密な事業計画が立てられており、実効性のある事業展開に期待が持てる団体である。</li> <li>・ 法人のスケールメリットを生かした事業運営に取り組んでおり、地域一帯となった児童館運営を意識的に実施している点が評価できる。</li> <li>・ 多様なイベント、工夫が盛り込まれた事業計画である。</li> <li>・ 法人本部に設置している地域共生社会推進センターを実りあるものとすべく活用して行ってほしい。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都福祉サービス協会を指定候補者に選定しています。</p>

## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都福祉サービス協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	20.80
	小計	32	26.80
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.40
	2 応募施設の事業計画	16	15.00
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.80
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.60
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	63.80
合計		98	90.60
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	93.32
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.2

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 切れ目のない支援のために、中高生の居場所作りとして、児童館が実施できる取組みを検討していくことが望ましい。
- ・ 研修制度が充実しており、人材育成に対する考え方もしっかり持たれている。利用者意思の尊重も意識的にできており、「ふれあい食堂」や「土曜日の給食」等の子育て支援事業にも取り組んでいってほしい。
- ・ サービスの質の確保に向けて、多様な施策を実施している。研修プログラムの中で同業種の他団体における事例等を学ぶ機会があれば、サービスの質の更なる向上につながる。
- ・ 保護者からのニーズを的確に把握しながら、運営して行ってほしい。



議第266号 京都市吉祥院児童館

1 施設の概要

- (1) 所在地  
京都市南区吉祥院砂ノ町50番地
- (2) 施設規模等  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て（2階部分）  
延べ床面積 282.00平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人清和園（理事長 吉瀬 純一）
主たる事務所の所在地	京都市南区久世川原町79番地
設 立 年 月 日	昭和34年4月13日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<p>（第一種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの指定管理</li> </ul> <p>（第二種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 老人短期入所事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの指定管理</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 放課後児童健全育成事業の経営</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の指定管理</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> </ul> <p>（公益を目的とする事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護職員養成研修等事業</li> <li>・ 特定施設入居者生活介護事業所</li> <li>・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業</li> <li>・ サービス付き高齢者向け住宅の経営</li> <li>・ 訪問看護事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市祥豊児童館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 児童の出会いの機会や体験を広げ、児童が主体的に関わることによって、自主性、社会性、創造性を養っていく。
- イ 学童クラブ事業においては、生活援助機能として、安全の確保、健康の管理、情緒の安定、基本的な生活習慣の確立等を図り、また、子ども育成機能として、社会性の養成や自立の促進、自主性の尊重等を図っていく。
- ウ 子育て家庭支援機能として、保護者が主体的に関わる活動を支援することで、保護者同士のつながりを深め、また、楽しい子育てができるよう関係機関との連携を図ることで、「子育てネットワーク」づくりを推進していく。
- エ 地域住民や関係機関との連携を推進し、共生のまちづくりに貢献していく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	29,713,726	30,162,641	30,603,794	31,027,907	31,486,857
	利用料	4,710,590	4,710,590	4,710,590	4,710,590	4,710,590
	収入合計	34,424,316	34,873,231	35,314,384	35,738,497	36,197,447
支出	人件費	26,959,619	27,408,534	27,849,687	28,273,800	28,732,750
	事業費	7,464,697	7,464,697	7,464,697	7,464,697	7,464,697
	支出合計	34,424,316	34,873,231	35,314,384	35,738,497	36,197,447

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 清和園	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請者は、高齢者施設や児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>・ 他の福祉事業と関連した事業計画となっており、実効性のある事業展開が期待できる。</li> <li>・ 児童館の役割を認識し、実現していく事業計画となっている。また、幅広い子育て支援事業も展開しており、地域に貢献していると評価できる。</li> <li>・ 給与が増加する点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人清和園を指定候補者に選定しています。</p>



## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 清和園
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.60
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.00
	小計	3.2	28.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.60
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.40
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	9.60
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.60
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	64.20
合計		9.8	92.80
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	95.58
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.5

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 中高生の利用促進について、さらなる検討を行ってほしい。
- ・ 大学等の教育機関との連携を図り、より広範な人材育成に取り組んでほしい。
- ・ PDCAサイクルを念頭に、サービスの質を向上させる上で効果的かつ具体的な施策を実施していると評価でき、現場へのフィードバックも意識的にできている。
- ・ 児童館に限らず、法人が運営する施設で重大な事故等が発生しないよう、可能な限り、事故等の発生を減らせるよう努めてほしい。
- ・ 自己完結だけでなく、もっと外部の意見を取り入れた方が、さらなるサービスの質の向上につながる。



**議第267号 京都市久世西児童館**

**1 施設の概要**

- (1) 所在地  
 京都市南区久世中久世町五丁目19番地の1  
 (施設外クラス)  
 京都市南区久世上久世町454番地
- (2) 施設規模等  
 構造 鉄筋コンクリート造2階建て(1階部分)  
 延べ床面積 256.90平方メートル  
 (施設外クラス)  
 京都市久世西小学校内(1階の1教室)  
 延べ床面積 128.00平方メートル

**2 指定期間**

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

**3 指定候補者の概要**

団体名(代表者名)	社会福祉法人清和園(理事長 吉瀬 純一)
主たる事務所の所在地	京都市南区久世川原町79番地
設立年月日	昭和34年4月13日
現在の基本財産	土地、建物
事業概要	<p>(第一種社会福祉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの指定管理</li> </ul> <p>(第二種社会福祉事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 老人短期入所事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの指定管理</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 放課後児童健全育成事業の経営</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の指定管理</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> </ul> <p>(公益を目的とする事業)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護職員養成研修等事業</li> <li>・ 特定施設入居者生活介護事業所</li> <li>・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業</li> <li>・ サービス付き高齢者向け住宅の経営</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 訪問看護事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市祥豊児童館ほか1館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 児童の出会いの機会や体験を広げ、児童が主体的に関わることによって、自主性、社会性、創造性を養っていく。
- イ 学童クラブ事業においては、生活援助機能として、安全の確保、健康の管理、情緒の安定、基本的な生活習慣の確立等を図り、また、子ども育成機能として、社会性の養成や自立の促進、自主性の尊重等を図っていく。
- ウ 子育て家庭支援機能として、保護者が主体的に関わる活動を支援することで、保護者同士のつながりを深め、また、楽しい子育てができるよう関係機関との連携を図ることで、「子育てネットワーク」づくりを推進していく。
- エ 地域住民や関係機関との連携を推進し、共生のまちづくりに貢献していく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	35,871,703	36,320,618	36,761,771	37,185,884	37,644,834
	利用料	12,274,740	12,274,740	12,274,740	12,274,740	12,274,740
	収入合計	48,146,443	48,595,358	49,036,511	49,460,624	49,919,574
支出	人件費	26,959,619	27,408,534	27,849,687	28,273,800	28,732,750
	事業費	21,186,824	21,186,824	21,186,824	21,186,824	21,186,824
	支出合計	48,146,443	48,595,358	49,036,511	49,460,624	49,919,574

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ <b>社会福祉法人清和園</b>	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 申請者は、高齢者施設や児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>・ 他の福祉事業と関連した事業計画となっており、実効性のある事業展開が期待できる。</li> <li>・ 児童館の役割を認識し、実現していく事業計画となっている。また、幅広い子育て支援事業も展開しており、地域に貢献していると評価できる。</li> <li>・ 給与が増加する点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人清和園を指定候補者に選定しています。</p>

## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 清和園
運営実績 (申請団体 の状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.60
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.00
	小計	3.2	28.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.60
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.40
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	9.60
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.60
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	64.20
合計		9.8	92.80
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	95.58
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	97.5

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 中高生の利用促進について、さらなる検討を行ってほしい。
- ・ 大学等の教育機関との連携を図り、より広範な人材育成に取り組んでほしい。
- ・ PDCAサイクルを念頭に、サービスの質を向上させる上で効果的かつ具体的な施策を実施していると評価でき、現場へのフィードバックも意識的にできている。
- ・ 児童館に限らず、法人が運営する施設で重大な事故等が発生しないよう、可能な限り、事故等の発生を減らせるよう努めてほしい。
- ・ 自己完結だけではなく、もっと外部の意見を取り入れた方が、さらなるサービスの質の向上につながる。



1 施設の概要

- (1) 所在地  
 京都市右京区西京極葛野町3番地  
 (施設外クラス)  
 京都市右京区西京極葛野町2番地
- (2) 施設規模等  
 構造 鉄筋コンクリート造2階建て(2階部分)  
 延べ床面積 339.51平方メートル  
 (施設外クラス)  
 京都市葛野小学校内(図書室)  
 延べ床面積 80.51平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名(代表者名)	社会福祉法人京都市社会福祉協議会(会長 小石 玖三主)
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設立年月日	昭和36年4月28日
現在の基本財産	100,000,000円、土地、建物
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施</li> <li>・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業</li> <li>・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業</li> <li>・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡</li> <li>・ 共同募金事業への協力</li> <li>・ ひと・まち交流館 京都の経営</li> <li>・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営</li> <li>・ 京都市長寿すこやかセンターの経営</li> <li>・ 京都市成年後見支援センターの経営</li> <li>・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営</li> <li>・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営</li> <li>・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人福祉センターの経営</li> <li>・ 地域包括支援センターの経営</li> <li>・ 老人短期入所施設の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護予防支援事業</li> <li>・ 日常生活自立支援事業(福祉サービス利用援助事業)</li> <li>・ 法人後見事業</li> <li>・ 生活福祉資金貸付事業</li> <li>・ その他の生活困窮者自立支援事業</li> <li>・ 生活支援体制整備事業</li> <li>・ その他この法人の目的達成のため必要な事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市紫野児童館ほか31館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 地域の乳幼児親子からお年寄りまで、いつでも気軽に利用ができ、安心して過ごせる児童館づくりに努め、地域の様々な機関との関係を密にし、相互に支え合う関係を構築することで、より良い児童館運営を行っていく。
- イ 学童クラブ事業については、放課後の時間や学校休業日において、児童の安全保障と人権尊重を職員間で共通認識として心掛け、安全かつ安心できる居場所を提供し、様々な遊びや行事を通じて、児童の自主性と協調性を育み、異年齢集団の生活を活かした、子ども同士の関わりづくりやリーダーシップの養成に努めていく。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を心掛ける。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策として、児童・職員の検温・手洗い・手指消毒の徹底、遊具・設備の消毒等を日々行うとともに、それらの取組についてホームページやおたよりで広く周知を行い、利用者の理解を得ていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	29,689,942	30,373,734	31,078,040	31,803,475	32,550,673
	利用料	7,367,324	7,367,324	7,367,324	7,367,324	7,367,324
	収入合計	37,057,266	37,741,058	38,445,364	39,170,799	39,917,997
支出	人件費	23,253,566	23,937,358	24,641,664	25,367,099	26,114,297
	事業費	13,803,700	13,803,700	13,803,700	13,803,700	13,803,700
	支出合計	37,057,266	37,741,058	38,445,364	39,170,799	39,917,997

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請者は、児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>長年にわたる児童館運営の実績に基づき緻密な事業計画が立てられており、実効性のある事業展開が期待できる。また、一步踏み込んだ子育て支援の取組を実施している点も評価できる。</li> <li>事業計画において、職員の給与を3%増額している点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> <li>多彩な活動が展開されている点や人材育成に力を入れている点が評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>



## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.80
	小計	3.2	29.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.80
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.80
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	65.60
合計		9.8	95.20
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.06
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 自由参加の児童や中高生の利用に対する方策、事業展開等について、今後、さらなる検討をすることが望ましい。
- ・ 組織全体、責任者、役職者レベルでは密に連携し、法人としてサービスの質の向上を図っている状況が確認できる。一方で、その内容が職員会議等を通じて職場レベルにまでフィードバックされることがより重要である。
- ・ 共働き世代が増加する中、保護者へのサポートの更なる充実とともに、子どもの成長、教育に今まで以上に取り組んでもらうことを期待する。
- ・ 成果と課題を明確にし、事業運営している点が評価できる。今後もアンケート等を通して集約した利用者の意見を大切にして運営してほしい。



1 施設の概要

- (1) 所在地  
京都市西京区上桂前田町29番地の2
- (2) 施設規模等  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て（1・2階部分）  
延べ床面積 220.90平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都市社会福祉協議会（会長 小石 玖三主）
主たる事務所の所在地	京都市下京区西木屋町通上ノ口上る梅湊町83番地の1
設 立 年 月 日	昭和36年4月28日
現 在 の 基 本 財 産	100,000,000円、土地、建物
事 業 概 要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の研究、総合的企画及び実施</li> <li>・ 社会福祉に関する活動への住民の参加のための援助</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業に関する調査、普及、宣伝、連絡、調整及び助成</li> <li>・ 社会福祉を目的とする事業の健全な発達を図るために必要な事業</li> <li>・ 区社会福祉協議会の相互の連絡及び調整の事業</li> <li>・ 保健医療、教育その他の社会福祉と関連する事業との連絡</li> <li>・ 共同募金事業への協力</li> <li>・ ひと・まち交流館 京都の経営</li> <li>・ 京都市福祉ボランティアセンターの経営</li> <li>・ 京都市長寿すこやかセンターの経営</li> <li>・ 京都市成年後見支援センターの経営</li> <li>・ 社会福祉研修・介護実習普及センターの経営</li> <li>・ 桂坂野鳥遊園並びにものづくり体験館の設置運営</li> <li>・ 児童館並びに放課後児童健全育成事業、地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人福祉センターの経営</li> <li>・ 地域包括支援センターの経営</li> <li>・ 老人短期入所施設の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 介護予防支援事業</li> <li>・ 日常生活自立支援事業（福祉サービス利用援助事業）</li> <li>・ 法人後見事業</li> <li>・ 生活福祉資金貸付事業</li> <li>・ その他の生活困窮者自立支援事業</li> <li>・ 生活支援体制整備事業</li> <li>・ その他この法人の目的達成のため必要な事業</li> </ul>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市紫野児童館ほか31館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 地域の乳幼児から大人までが、いつでも気軽に来館し、安心して過ごせる児童館づくりに努め、地域の様々な機関との関係を密にし、相互に支え合う関係を構築し、より良い児童館運営を行っていく。
- イ 学童クラブ事業については、子どもにとっての生活の場として、放課後を安全に過ごし、日常での集団生活、遊び、行事等を通じて、お互いの仲間意識や協調性を高めていく。
- ウ 障害のある児童については、保護者・学校・関係各所と連携を取りながら、ノーマライゼーションの理念に基づいた対応を心掛ける。
- エ 新型コロナウイルス感染症対策として、児童・職員の検温・手洗い・手指消毒の徹底、遊具・設備の消毒等を日々行うとともに、それらの取組についてホームページやおたよりで広く周知を行い、利用者の理解を得ていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	28,090,490	28,891,992	29,717,539	30,567,852	31,443,675
	利用料	4,869,173	4,869,173	4,869,173	4,869,173	4,869,173
	収入合計	32,959,663	33,761,165	34,586,712	35,437,025	36,312,848
支出	人件費	27,329,563	28,131,065	28,956,612	29,806,925	30,682,748
	事業費	5,630,100	5,630,100	5,630,100	5,630,100	5,630,100
	支出合計	32,959,663	33,761,165	34,586,712	35,437,025	36,312,848

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 京都市社会福祉協議会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>申請者は、児童館運営の経験が豊富で、事業計画も多彩であり、安定した事業運営に期待が持てる団体である。</li> <li>長年にわたる児童館運営の実績に基づき緻密な事業計画が立てられており、実効性のある事業展開が期待できる。また、一步踏み込んだ子育て支援の取組を実施している点も評価できる。</li> <li>事業計画において、職員の給与を3%増額している点が評価できる。一方、一人当たりの給与水準や今般の物価高騰を踏まえて、子どもたちの健全育成を担う職員への更なる配慮を期待したい。</li> <li>多彩な活動が展開されている点や人材育成に力を入れている点が評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都市社会福祉協議会を指定候補者に選定しています。</p>

## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都市社会福祉協議会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	23.80
	小計	3.2	29.60
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	15.80
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.80
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	65.60
合計		9.8	95.20
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	98.06
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	100

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 自由参加の児童や中高生の利用に対する方策、事業展開等について、今後、さらなる検討をすることが望ましい。
- 組織全体、責任者、役職者レベルでは密に連携し、法人としてサービスの質の向上を図っている状況が確認できる。一方で、その内容が職員会議等を通じて職場レベルにまでフィードバックされることがより重要である。
- 共働き世代が増加する中、保護者へのサポートの更なる充実とともに、子どもの成長、教育に今まで以上に取り組んでもらうことを期待する。
- 成果と課題を明確にし、事業運営している点が評価できる。今後もアンケート等を通して集約した利用者の意見を大切にして運営してほしい。



議第270号 京都市伏見板橋児童館

1 施設の概要

- (1) 所在地  
京都市伏見区御駕籠町91番地
- (2) 施設規模等  
構 造 鉄筋コンクリート造3階建て（1階部分）  
延べ床面積 380.00平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人フジの会（理事長 砂川 靖子）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区深草泓ノ壺町37番地の1
設 立 年 月 日	昭和57年8月18日
現 在 の 基 本 財 産	土地、建物
事 業 概 要	<p>（第一種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> <li>・ 軽費老人ホーム（ケアハウス）の経営</li> </ul> <p>（第二種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人デイサービスセンターの経営</li> <li>・ 老人短期入所事業の経営</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 精神障害者福祉ホーム事業の経営</li> <li>・ 保育所の経営</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 一時預かり事業の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の経営</li> <li>・ 放課後児童健全育成事業の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> <li>・ 小規模保育事業の経営</li> <li>・ 幼保連携型認定こども園の経営</li> </ul> <p>（居宅介護支援事業）</p> <p>（シルバーハウジング事業）</p> <p>（地域支援事業を市町村から受託して実施する事業）</p> <p>（診療所の事業）</p>
他の本市児童館での指定管理の実績	なし

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 法人理念のもと、「わたしたちの児童館」として誰にも愛され、親しまれる児童館を目指していく。また、ステーション事業として地域と関わりのある事業の開催に努めていく。
- イ 学童クラブ事業については、生活の場として放課後の子どもの安全と衛生を確保しつつ、遊びの種類を幅広く取り上げ、異年齢集団の特色を活かしながら、いたわる心、互いを認め合う力を構築していく。
- ウ 障害のある児童については、保護者との面談や小学校との連携、専門家を交えた会議等を実施し、受入れを進めていく。虐待が疑われる児童については、各関係機関との連携を行い、複雑で困難な事情を抱える家庭に寄り添い、継続した見守りに努めていく。
- エ 新型コロナウイルス感染症への対応として、検温や手指消毒、施設やおもちゃの消毒等を徹底し、感染症拡大防止に努めていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	26,500,000	26,750,000	27,000,000	27,250,000	27,500,000
	利用料	10,500,000	10,500,000	10,500,000	10,500,000	10,500,000
	収入合計	37,000,000	37,250,000	37,500,000	37,750,000	38,000,000
支出	人件費	24,000,000	24,250,000	24,500,000	24,750,000	25,000,000
	事業費	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000	13,000,000
	支出合計	37,000,000	37,250,000	37,500,000	37,750,000	38,000,000

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 フジの会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域に根差した児童館運営の取組から、今後、更なる地域連携による事業展開に期待が持てる団体である。</li> <li>・ 継続的にサービスの質の向上に向けた取組が実施されている。</li> <li>・ 実務研修は多彩かつ豊富であるが、コンプライアンス研修の内容も充実してほしい。</li> <li>・ 多様なイベント、工夫が盛り込まれた事業計画である。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人フジの会を指定候補者に選定しています。</p>



## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 フジの会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	24.20
	小計	3.2	30.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	8.00
	2 応募施設の事業計画	1.6	14.60
	3 応募施設の施設運営体制	1.0	9.20
	4 応募施設の経営管理計画	1.2	11.80
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	6.6	63.60
合計		9.8	93.60
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	96.41
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.4

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 中高生の利用促進について、運営理念や基本計画に組み込む等の検討を進めてほしい。
- ・ 障害のある児童の受入れを積極的に行っている点や虐待が疑われる児童の支援に対する対応方針を定めて実践している点が評価できる。
- ・ サービスの質の確保に向けて、多様な施策を実施している。研修プログラムの中で同業種他団体における事例等を学ぶ機会があれば、サービスの質の更なる向上につながる。
- ・ 児童館職員で構成するサービス委員会が効果的に機能するかが今後の課題である。



1 施設の概要

- (1) 所在地  
京都市伏見区桃山町正宗5番地の6
- (2) 施設規模等  
構 造 鉄筋コンクリート造2階建て（1・2階部分）  
延べ床面積 304.55平方メートル

2 指定期間

令和5年4月1日から令和10年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人健光園（理事長 古石 隆光）
主たる事務所の所在地	京都市右京区嵯峨大覚寺門前六道町12番地
設 立 年 月 日	昭和26年3月12日
現 在 の 基 本 財 産	本尊観音像、土地、建物
事 業 概 要	<p>（第一種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> </ul> <p>（第二種社会福祉事業）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 老人短期入所事業の経営</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の経営</li> <li>・ 児童厚生施設の指定管理</li> <li>・ 放課後児童健全育成事業の経営</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> </ul> <p>（老人訪問看護事業） （居宅療養管理指導事業） （居宅介護支援事業） （地域支援事業を市町村から受託して実施する事業） （診療所事業） （公益的事業を行う団体に事務所等として無償又は実費に近い対価で使用させるために会館等を経営する事業）</p>
他の本市児童館での指定管理の実績	京都市北白川児童館

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 乳幼児クラブや保護者向けの活動、講演会を実施する等、子育て家庭への支援を行うとともに、遊具や遊戯室の開放、地域への子育て支援の情報発信等を行うことにより、親子や子育て仲間がゆつくりと過ごせる居場所づくりを目指していく。
- イ 学童クラブ事業については、放課後留守家庭児童の安心安全な居場所を提供し、異年齢集団を活かした遊び、交流、生活活動を実施することで、子どもたちの育成支援に努めていく。
- ウ 障害のある児童を積極的に受入れ、共に生きることを大切にしながら、ノーマライゼーションの推進に努めていく。
- エ 新型コロナウイルス感染症への対応として、手洗い、消毒、検温、3密の回避を基本とし、徹底した予防と感染拡大防止に取り組んでいく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和9年度
収入	委託料	25,000,000	25,400,000	25,800,000	26,200,000	26,600,000
	利用料	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000	11,000,000
	収入合計	36,000,000	36,400,000	36,800,000	37,200,000	37,600,000
支出	人件費	21,900,000	22,300,000	22,700,000	23,100,000	23,500,000
	事業費	14,100,000	14,100,000	14,100,000	14,100,000	14,100,000
	支出合計	36,000,000	36,400,000	36,800,000	37,200,000	37,600,000

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・社会福祉法人 健光園	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>他の福祉事業と関連した事業計画となっており、実効性のある事業展開に期待が持てる団体である。</li> <li>児童館の役割を意識しながら、充実した事業運営に取り組まれている。障害を持つ児童の積極的な受入れや子ども食堂の開催等に取り組んでいる点も評価できる。「遊びのプログラム」についても、継続して実施してほしい。</li> <li>多様なイベント、工夫が盛り込まれた事業計画である。</li> <li>児童館運営において、着実な子育て支援活動を行っている点が評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人健光園を指定候補者に選定しています。</p>

## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 健光園
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.40
	2 団体の運営管理体制	26	21.60
	小計	32	27.00
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	8	7.80
	2 応募施設の事業計画	16	14.80
	3 応募施設の施設運営体制	10	9.80
	4 応募施設の経営管理計画	12	11.60
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	66	64.00
合計		98	91.00
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	93.73
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.6

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 中高生の利用促進について、運営理念や基本計画に組み込む等の検討を進めてほしい。
- ・ 利用者の意見反映が意識的にできている。
- ・ 職員研修について、ハラスメント研修の実施や実務技能研修の実施等も検討する等、さらに内容を充実してほしい。
- ・ サービスの質の確保に向けて、多様な施策を実施している。
- ・ 専門知識がないボランティアを活用する場合には、職員による十分なフォローが必要である。
- ・ 学童クラブの保護者支援が充実するよう、ICT化を確実に進めてほしい。



### 1 施設の概要

(1) 所在地

京都市伏見区深草西浦町六丁目65番地

(2) 施設規模等

構造 鉄筋コンクリート造7階建て（1階部分）

延べ床面積 1,414.46平方メートル

（うち、児童発達支援センターの用に供する部分）

延べ床面積 1,012平方メートル

定員 40名（児童発達支援センター）

### 2 指定期間

令和5年4月1日から令和9年3月31日まで

### 3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都総合福祉協会（理事長 西村 潔）
主たる事務所の所在地	京都市左京区下鴨北野々神町26番地
設立年月日	昭和47年4月18日
現在の基本財産	3,000,000円、土地、建物
事業概要	<p>多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。</p> <p>(1) 第一種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者支援施設の指定管理</li> </ul> <p>(2) 第二種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営及び指定管理</li> <li>・ 障害児通所支援事業の経営及び指定管理</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> <li>・ 一般相談支援事業の経営</li> <li>・ 障害児相談支援事業の経営</li> <li>・ 移動支援事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 児童の福祉の増進について相談に応じる事業の経営</li> <li>・ 社会福祉事業に関する連絡又は助成を行う事業の経営 （「障害児者の援護、育成活動及びその思想の普及啓発」並びに「障害児者の援護、育成又は更生を目的とする団体との連絡提携事業」）</li> </ul> <p>(3) 公益を目的とする事業</p> <p>社会福祉法26条の規定により、利用者が個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 障害者就業・生活支援センター事業</li> <li>・ 京都市総合療育事業（すぎのこ教室）</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 京都市発達障害者支援センター事業</li> </ul>

他 の 本 市 で の 指 定 管 理 の 実 績	7施設（障害者支援施設、生活介護等）
------------------------------	--------------------

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

令和3年度の「障害者差別解消法」改正により、民間事業者でも「合理的配慮」の提供が法的義務になりました。保育や幼児教育の現場でもインクルーシブの考え方が広まってきているとともに、どんな子どもにとっても地域に居場所があり、地域で暮らしていくという考え方はあたりまえの時代になってきています。また、令和3年度に制定された「医療的ケア児及びその家族の支援に関する法律」では、増加する医療的ケア児の日常生活や社会生活を社会全体で支え、家族の離職を防止することも定められ、児童発達支援でも看護師の配置を勧める報酬体系となっています。

安心して過ごせる場や理解してもらえる場が増えてきた今、より積極的な意味で選択される施設であり続けるために、今まで大切に取り組んできた内容をさらに発展させて、また新しい価値に対応する柔軟性も備えた施設を目指します。

令和3年10月に示された厚生労働省の「障害児通所支援の在り方に関する検討会報告書」に基づき、児童発達支援センターに求められる機能の充実を図ることができるようにしていきます。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入	給付費等	104,310,000	104,500,000	105,070,000	105,800,000
	委託料	1,020,000	1,020,000	1,020,000	1,020,000
	その他事業	13,300,000	13,300,000	13,300,000	13,300,000
	その他収入	500,000	500,000	8,500,000	500,000
	収入計	119,130,000	119,320,000	127,890,000	120,620,000
支出	人件費	92,200,000	92,200,000	97,880,000	97,880,000
	事業費	6,550,000	6,550,000	6,550,000	6,550,000
	業務委託費	7,500,000	7,500,000	7,500,000	7,500,000
	修繕費	500,000	500,000	500,000	500,000
	その他支出	11,830,000	11,850,000	14,890,000	7,470,000
	支出合計	118,580,000	118,600,000	127,320,000	119,900,000



## 5 選定の概況

### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ <b>社会福祉法人 京都総合福祉 協会</b>	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>これまでの実績に基づいた事業計画となっており、実効性のある事業展開が期待できる。</li> <li>一人ひとりへのきめ細やかな視点をもって療育が提供されている点は評価できる。</li> <li>国の基準を上回る職員配置ができており、きめ細やかな支援が実現できていると感じる。新型コロナウイルスによる経営面への影響もあると思うが、経営努力により乗り切るよう期待する。</li> <li>人権研修、虐待防止研修は充実している。子どもの権利条約に関する研修は、施設で勤務する全ての職員に受講いただきたい。</li> <li>利用者目線の更なる向上に取り組むとした点は評価できる。児童発達支援センターにおいて必要な事項であり、速やかな実施を求めたい。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都総合福祉協会を指定候補者に選定しています。</p>

### (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都総合福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	6.00
	2 団体の運営管理体制	26	19.20
	小計	32	25.20
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	10	10.00
	2 応募施設の事業計画	16	15.60
	3 応募施設の施設運営体制	12	12.00
	4 応募施設の経営管理計画	14	13.40
	5 応募施設の危機・安全管理	20	20.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	72	71.00
合計		104	96.20
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	99.09
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	95.3

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 外部評価の結果については、事業計画の内容やサービスの質の確保・向上に係る取組にも反映させるよう、検討いただきたい。
- 利用児、保護者の目線に立ち、可能な限りニーズに応えようと創意工夫している様子が伺える。引き続きニーズをもっと拾い上げられるよう、取組を工夫していただきたい。
- 職員の定着を図るための取組に関する記載があり評価できるが、ハラスメント研修の実施等、労働コンプライアンスの確保も図っていただきたい。
- 通園環境が充実している点（通園バスの運行など）が評価できる。

### 1 施設の概要

(1) 所在地

京都市伏見区深草西浦町六丁目65番地

(2) 施設規模等

構造 鉄筋コンクリート造7階建て（1階部分）

延べ床面積 1,414.46平方メートル

（うち、児童発達支援センターの用に供する部分以外）

延べ床面積 390平方メートル

定員 10名（児童発達支援）

### 2 指定期間

令和5年4月1日から令和9年3月31日まで

### 3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	社会福祉法人京都老人福祉協会（理事長 馬場 協一郎）
主たる事務所の所在地	京都市伏見区深草大亀谷東古御香町59番地及び60番地
設立年月日	昭和32年7月8日
現在の基本財産	土地、建物
事業概要	<p>多様な福祉サービスがその利用者の意向を尊重して総合的に提供されるよう創意工夫することにより、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することを目的として、次の社会福祉事業を行う。</p> <p>(1) 第一種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 養護老人ホームの経営</li> <li>・ 特別養護老人ホームの経営</li> </ul> <p>(2) 第二種社会福祉事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 老人デイサービス事業の経営</li> <li>・ 老人デイサービスの指定管理</li> <li>・ 老人短期入所施設事業の経営</li> <li>・ 老人短期入所施設の指定管理</li> <li>・ 老人介護支援センターの経営</li> <li>・ 老人介護支援センターの指定管理</li> <li>・ 老人居宅介護等事業の経営</li> <li>・ 障害福祉サービス事業の経営</li> <li>・ 認知症対応型老人共同生活援助事業の経営</li> <li>・ 小規模多機能型居宅介護事業の経営</li> <li>・ 一般相談支援事業の経営</li> <li>・ 特定相談支援事業の経営</li> <li>・ 地域子育て支援拠点事業の経営</li> <li>・ 幼保連携型認定こども園の経営</li> <li>・ 一時預かり事業の経営</li> <li>・ 障害児通所支援事業の経営</li> <li>・ 複合型サービス福祉事業の経営</li> </ul>

	<p>社会福祉法26条の規定により、利用者が、個人の尊厳を保持しつつ、自立した生活を地域社会において営むことができるよう支援することなどを目的として、次の事業を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 介護職員養成研修事業</li> <li>・ 居宅介護支援事業</li> <li>・ 居宅サービス事業</li> <li>・ 介護予防サービス事業</li> <li>・ 地域支援事業を市町村から受託して実施する事業</li> <li>・ 介護予防支援事業</li> <li>・ サービス付き高齢者向け住宅の設置経営</li> <li>・ 企業主導型保育事業の運営</li> </ul>
他 の 本 市 で の 指 定 管 理 の 実 績	5施設（老人デイサービスセンター、老人短期入所施設等）

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

地域における発達支援の専門施設として、日常生活における基本的な機能の獲得を援助し、集団生活への適応を援助する。医療機関と連携して、保護者からの相談とあそびの様子を評価し個別の療育計画を作成する。個別訓練、小集団での遊びを通じて目的達成を図る。また保護者に対しては、個別の相談および家族相互の交流を支援し、障がいを受け止められるように援助する。並行して子ども園等に通園する場合は、子ども園等と連携を密に行い、目標を共有する。

就学予定小学校とも本事業利用中から密接な連携を取り個別の目標について共有する。また、就学後の放課後の過ごしの際となる放課後等デイサービスも保護者と共に検討し連携を取る。

子ども達の得意なこと、好きなことから「したい!」「やってみたい!」の気持ちを広げる。「できた!」「みて!」を大切に自分に対する肯定的な感情を育てる。そして、人と一緒に遊ぶ楽しさをたくさん感じられるように日々関わっていく。そのような中で子ども達や保護者に通いたい施設と思ってもらえるように努めていく。

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収入	給付費等	32,240,000	32,240,000	32,240,000	32,240,000
	委託料	100,000	100,000	100,000	100,000
	その他事業	20,000	20,000	20,000	20,000
	その他収入	50,000	50,000	50,000	50,000
	収入計	32,410,000	32,410,000	32,410,000	32,410,000
支出	人件費	29,850,000	29,850,000	29,850,000	29,850,000
	事業費	1,404,000	1,404,000	1,404,000	1,404,000
	業務委託費	50,000	50,000	50,000	50,000
	修繕費	50,000	50,000	50,000	50,000
	その他支出	50,000	50,000	50,000	50,000
	支出合計	31,404,000	31,404,000	31,404,000	31,404,000

## 5 選定の概況

### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・ <b>社会福祉法人 京都老人福祉 協会</b>	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 様々な福祉事業に幅広く対応している点が評価できる。</li> <li>・ これまでの実績に基づいた事業計画となっており、記載のあった内容の範囲では十分に達成できる内容となっている。</li> <li>・ 利用児の就学に向け、地域の小学校との間で緊密な連携が行っている点が評価できる。職員にとって働きやすい環境を作るための取組を行い、定着を図っている点も良いと感じる。</li> <li>・ 昇給による人件費増加や収入増に係る見通しが反映されていないなど、資金計画の積算に不十分な点がある。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、社会福祉法人京都老人福祉協会を指定候補者に選定しています。</p>

### (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		社会福祉法人 京都老人福祉協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	6	5.80
	2 団体の運営管理体制	2.6	20.00
	小計	3.2	25.80
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	1.0	9.20
	2 応募施設の事業計画	1.6	14.80
	3 応募施設の施設運営体制	1.2	10.00
	4 応募施設の経営管理計画	1.4	13.00
	5 応募施設の危機・安全管理	2.0	18.00
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	7.2	65.00
合計		10.4	90.80
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	93.52
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	89.9

注 指定管理者を選定することを目的として、選定委員会で検討した選定基準に基づき評価した結果であり、応募団体の経営状況やサービスの質の格付けを意味するものではない。

(3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- 施設としての運営理念が不明瞭と感じる。事業計画の内容やサービスの質の確保・向上に係る取組に運営理念がどう反映しているのか、もう少し検討いただきたい。
- 日々の療育をより効果的に行うため、事業所でミーティング等の検討を細やかに行っている点が評価できる。
- 本施設においても外部評価を受けるよう努めるべき。
- 法人としての研修は充実しているが、発達支援をテーマにしたもの等、本施設職員向けの研修も加えるべき。また、同業他団体の事例を学ぶ機会があれば、サービスの質の確保等の更なる向上ができると感じる。
- 保育を考究する姿勢を明確にし、日々の療育に取り組んでいただきたい。

議第274号 京都市中央青少年活動センター

1 施設の概要

施設名称		所在地	施設規模等
京都市中央青少年活動センター		京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地	鉄筋鉄骨コンクリート造地下2階地上4階建の地下1階の一部分及び3階部分 1,870㎡
分館	京都市北青少年活動センター	京都市北区紫野西御所田町56番地 北区総合庁舎西庁舎内	鉄筋コンクリート造4階建の3階及び4階部分 958㎡
	京都市東山青少年活動センター	京都市東山区清水五丁目130番地の6 東山区総合庁舎内	鉄筋鉄骨コンクリート造地下2階地上4階建の2階及び3階部分の一部分 1,038㎡
	京都市山科青少年活動センター	京都市山科区竹鼻四丁野町42番地	鉄筋コンクリート造2階建 741㎡
	京都市下京青少年活動センター	京都市下京区川端町13番地	鉄筋コンクリート造一部鉄骨造地下1階地上4階建ての地下1階の一部分、1階及び2階の一部分 3,078㎡
	京都市南青少年活動センター	京都市南区西九条南田町72番地	鉄筋コンクリート造2階建 847㎡
	京都市伏見青少年活動センター	京都市伏見区鷹匠町39番地の2 伏見区総合庁舎内	鉄筋コンクリート造4階建の3階及び4階部分の一部分 1,451㎡

2 指定期間

令和5年4月1日から令和9年3月31日まで

3 指定候補者の概要

団体名（代表者名）	公益財団法人京都市ユースサービス協会（代表理事 安保 千秋）
主たる事務所の所在地	京都市中京区東洞院通六角下る御射山町262番地
設立年月日	昭和63年3月29日
現在の基本財産	30,000,000円
事業概要	(1) 青少年活動に資する施設の運営を通して行う青少年育成に関する事業、 ならびに市民の文化・福祉・体育活動の振興に資する事業 (2) 青少年グループ・団体の交流や情報交換、支援、情報提供にかかわる事業 (3) 就労や自立支援に関わる事業 (4) 青少年活動に関する調査・研究 (5) 青少年に関する施策のうちで法人の目的にかなう事業 (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業
他の本市での指定管理の実績	なし

#### 4 事業計画及び収支計画の概要

##### (1) 事業計画の概要

- ア 青少年が安心して他者との関わりをもち、コミュニティとつながる経験ができる「居場所」に関する事業
- イ ボランティア活動や自主活動等を通じた担い手育成
- ウ 地域交流・連携・地域参加への取組
- エ 「子ども・若者総合相談窓口」の設置、子ども・若者支援室、京都若者サポートステーション等と連携した相談・支援、生活保護世帯等生活困窮世帯の子どもに対する学習支援、児童養護施設退所者等退所後の生活相談や交流事業
- オ 各種広報媒体や、中学・高校・大学等への出前事業による情報発信・広報のほか、「自習室」や「フリータイム」（予約なしで利用できる時間帯の設定）などによる利用促進
- カ スクールサポーターや京都府の少年の立ち直り支援（ユース・アシスト）との連携による少年非行の解決・軽減に向けた取組
- キ SDGs を意識した事業展開や KES 認証を活かした施設運営

##### (2) 収支計画の概要

(単位：円)

		令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
収 入	指定管理料	332,294,000	332,294,000	332,294,000	332,294,000
	その他	2,500,000	3,000,000	3,500,000	4,500,000
	収入合計	334,794,000	335,294,000	335,794,000	336,794,000
支 出	人件費	248,706,383	247,901,174	253,247,256	256,338,440
	事業費	86,087,617	87,392,826	82,546,744	80,455,560
	支出合計	334,794,000	335,294,000	335,794,000	336,794,000

#### 5 選定の概況

##### (1) 応募団体及び選定理由

応募団体数	応募団体名	選定理由の概要
1	・公益財団法人 京都市ユース サービス協会	<p>(運営実績及び事業計画に関する選定委員会からの評価)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ これまでの実績に基づいて各センターの特徴に合わせた多様な事業計画となっており、実効性のある事業展開が期待できる。</li> <li>・ 青少年活動センターの運営について、豊富かつ堅実な実績があり、各センターの地域的特色を踏まえた工夫が見られ、他の団体や関係機関との連携も多彩に行っていると評価できる。また、青少年活動センターの機能や役割を踏まえた事業計画になっており、利用者の意見を反映しようと努力されている姿勢が伺える。</li> <li>・ 事業計画の数値面において、詳細な前提をもとに算定されており、資金計画は安定していると評価できる。</li> <li>・ 青少年活動センターを運営する団体として申し分ないと評価できる。</li> </ul> <p>以上により、運営実績と事業計画を総合的に評価し、公益財団法人京都市ユースサービス協会を指定候補者に選定しています。</p>



## (2) 審査結果一覧

審査項目		配点	応募団体
大項目	中項目		公益財団法人 京都市ユース サービス協会
運営実績 (申請団体の 状況)	1 団体の運営実績及び組織内連携	10	10.00
	2 団体の運営管理体制	22	20.20
	小計	32	30.20
事業計画 (応募施設 の状況)	1 応募施設の運営理念	10	9.20
	2 応募施設の事業計画	18	17.20
	3 応募施設の施設運営体制	12	11.80
	4 応募施設の経営管理計画	14	13.00
	5 応募施設の危機・安全管理	20	19.20
	6 上記以外で特にPRしたい内容	—	—
	小計	74	70.40
価格点 (10×最低価格/当該申請団体提示価格)		10	10.00
合計		116	110.60
3%加算後 (市内中小企業及び市内に本拠を置く団体)		—	113.92
合計得点 (百分率表示、小数点第2位を四捨五入)		100	98.2

## (3) サービスの質の確保、向上に関する選定委員会からの意見

- ・ 切れ目のない支援を目指し、縦断的な支援として小学校や児童館との連携、横断的な支援として中学校・高校との連携を進めていただきたい。特に、中学校・高校とは「切れ目のない支援」の内容について、密にコミュニケーションが図れる風通しの良い関係づくりが望まれる。
- ・ 生活や学習環境に困難を抱えている青少年の居場所づくりに関する事業については、対応できていないセンターがあるので、全センターに展開していただきたい。
- ・ 青少年活動センターは7か所あり、施設数が多いため、内部連携を意識した施策は有効である。
- ・ 青少年が対象であることからWEBサイトやSNSの活用を考えられているが、メリハリのある活用が望ましい。



**各指定候補者の役員等名簿**

団 体 名	役 員
社会福祉法人京都市 社会福祉協議会 (議第263号、議第 264号、議第268 号、議第269号)	会 長 小石 玖三主 顧 問 村井 信夫 会長代行 竹下 義樹 副会長 上林 研二、高屋 宏章、水田 隆一、山岸 孝啓、 村井 健次郎 常務理事 芳賀 正昭 理 事 椎村 悌知、村上 繁樹、安田 茂夫、内海 敏、 井上 一哲、田中 一明、中西 昌哉、芹澤 出、 嶋本 弘文、西村 忠雄、井筒 隆夫、鶴飼 泉、 佐伯 久子、藤 憲之、三宅 英知、岡崎 祐司 監 事 和田 千恵、新室 邦明、神本 満男 評議員 岡井 卷雄、赤井 英俊、上田 捷男、田邊 正、 河原 善雄、倉橋 修、西脇 悦子、中村 喜代子、 寺本 演夫、菊池 初江、藤岡 強志、小森 純、 岩井 義男、美濃 敦子、内海 日出子、水内 直、 石塚 かおる、時任 百子、小林 久男、加藤 博史、 大泉 清貴、大江 正照、山根 俊茂、尾高 紀子、 岡 千栄子、横内 美佐子、塚崎 直樹、山添 洋子、 廣田 幸子、松景 崇誓、岡本 弥一郎、西村 葉子、 岩井 増枝、前坂 己美子、平井 良和、天野 広一、 射場 和子、山口 正孝、山本 正、日向 太郎、 堺 紀恵子、篠原 輝雄、木村 美由紀、松井 道宣、 小嶋 薫、平尾 剛之、阪本 一郎、中西 朋子、 平山 たかお、井上 基
社会福祉法人京都福 祉サービス協会 (議第265号)	理事長 浅野 信之 理 事 井上 章、木戸 玲子、河本 歩美、塩澤 宏、 濱岡 政好、増田 秀一、松本 勝一 監 事 石原 豊、壁 純一郎 評議員 井上 基、神波 順子、北川 靖、児玉 直久、 中島 すま子、西村 忠雄、三浦 正人、山下 正純、 山添 洋子、山田 尋志、横内 美佐子
社会福祉法人清和園 (議第266号、議第 267号)	理事長 吉瀬 純一 理 事 池上 佳典、細井 宏俊、寺町 邦昭、上田 忠裕、 遠山 淳 監 事 池田 博義、伊藤 由子 評議員 矢野 武也、齊藤 亮秋、内藤 恒克、藤井 幹也、 山口 貞博、吉田 大治、水野 正美、飛驒 芳廣
社会福祉法人フジの 会 (議第270号)	理事長 砂川 靖子 理 事 石井 小雪、砂川 孫四郎、高橋 良政、宮川 浩義、 村田 政義 監 事 絹谷 依久子、木村 明美 評議員 伊藤 真也、栗山 和彦、田中 隆雄、鍋島 愛信、 濱名 正子、藤代 雅男、藪 修弥

団 体 名	役 員
社会福祉法人健光園 (議第271号)	理事長 古石 隆光 理 事 奥田 守、中川 一良、村上 淳、中谷 悟、岩佐 淑子 監 事 九鬼 郁雄、志藤 修史 評議員 岡本 民夫、石原 豊、伊勢 俊雄、黒田 正子、 津田 洋子、安藤 和彦、吉田 久美子、渡邊 憲子、 居内 学
社会福祉法人京都総合福祉協会 (議第272号)	理事長 西村 潔 理 事 上田 良弘、榊 信一、永井 弘二、野村 武夫、 藤木 恵、前田 武藏、宮内 賀永子 常務理事 多田 吉宏 監 事 堀井 優、山田 尋志 評議員 安念 弘和、猪飼 康夫、岡 千栄子、小塩 康次、 木村 重之、公文 茂人、斉藤 泰樹、城本 聡美、 久門 誠、星野 義一、水口 重忠、美濃 敦子、 山中 裕子、山脇 康彦、吉田 博美
社会福祉法人京都老人福祉協会 (議第273号)	理事長 馬場 協一郎 理 事 瀬戸 実、荒竹 孝一、上田 充子、橋本 信夫、 松田 美智子 監 事 神本 満男、田中 祥子 評議員 井上 幸夫、小笹 浩紀、川崎 昭博、國重 晴彦、 小竹 健一、高橋 猛、田中 聖、中尾 朱里、 中路 賞江、前田 治彦、美濃 敦子、山田 尋志
公益財団法人京都市ユースサービス協会 (議第274号)	理事長 安保 千秋 専務理事 上田 廣久 常務理事 松山 廉 理 事 池田 英郎、石山 裕菜、岡部 茜、小嶋 薫、 松村 幸裕子 監 事 赤澤 清孝、磯田 利佳子 評議員会長 深尾 昌峰 評議員 遠藤 浩、牛田 順子、鈴木 暁子、高桑 鉄則、 田中 研三、和田 寛治